

大阪教育大学数学会の設立と発展

2023年9月7日、大阪教育大学数学会主催の第97回算数・数学科教育研究発表会（開催校：附属池田校舎）が『数学的な見方・考え方を育む算数・数学の授業』を主題として実施された。例年、本会では、担当附属校の教員が開催校の学年クラスに入り込み、分担して公開授業とその後に研究協議が行われている。次は本年度の状況である：

<2023年度 第97回算数・数学科教育研究発表会 担当校一覧>

小学校	低学年 附属天王寺小学校、中学年 附属池田小学校、高学年 附属平野小学校
中学校	第1学年 附属池田小学校、第2学年 附属天王寺中学校、第3学年 附属平野中学校
高等学校	第2学年 附属天王寺高等学校

ここで、本会に関わる特集がある[1]-[5]を参考に本会の成立について振り返る。

まず、大阪府三師範（大阪府天王寺師範学校(1874年創設)、大阪府池田師範学校(1908年創設)、大阪府女子師範学校(1900年創設)）の数学担当者により、「大阪府三師範数学研究会」が創設された。各師範学校は、附属に対して本校と称し、附属として各々に小学校があった。これらの間には、縦横のつながりがあり、縦のつながり、つまり、本校と附属とは一体となり初等教育の研究とその推進に当たっていた。一方、横のつながりとしては、三師範併合各教科教授法研究会(1912年,昭和初めまでには三師範連合研究会に改称)が開催されていた。また、附属を含む三師範に限定せず、大阪府下では小学校教員を対象に次を行っていた。

・1908年 合同参観及研究会 (於 各附属)

・1913年頃 大阪府下小学校連合研究会 (於 各附属, 府下小学校)

更に、天王寺師範学校では、校友会研究発表月間機関紙として『初等教育教材研究』を1903年に創刊、大正末期まで続いた後に、大阪府三師範学校教育研究会編輯で1925年に『我等の教育』と改題し創刊された。ここに、本校教諭と附属訓導との間で研究協力態勢が整った。

このような中の1919年ごろ、日本では、新教育運動や数学教育改良運動が起こり、師範学校附属小学校や私立小学校を中心に研究活動が行われる。大阪においても1920年、大阪府市部初等教育連合研究会(天王寺師範学校附属小学校)で発表がなされるなどした。しかし、実際には、数学教育改良運動に基づく改善が師範学校の数学教育に及ばず、そのことを不満に思い、改善に乗り出そうと、大阪府三師範数学教育研究会を創設することになった。この研究会創設要因として、当時池田市在住の小倉金之助の存在は欠かすことができない。小倉は、財団法人塩見理化学研究所(1917 着任, 1926 所長, 1937 離任) 大阪医科大学予科(教授:1917 着任, 1927 辞任)で務めた。特にその間の小倉による

・『数学教育の根本問題』(イデア書院,1924)発行

・池田師範にて講演(1925年10月)

により大いに啓発された。(尚、このようなことから研究会創設時期は、1925年10月から1926年4月の期間と考えられる。)

大阪府三師範数学研究会は、その創設直後、師範学校の数学教育改善を目指し、1928年には『師範二部融合数学』(立川書店)を出版する。続いて同年に、附属小学校訓導を加え、大阪府三師範初等教育数学会が結成される。その過程は、師範教育の改善から初等算術教育における教授法の改善を企画、本校数学関係者が附属算術関係者に呼びかけ、それに呼応したというものであった。その後、今日に至る算数・数学科教育研究発表会の初回である次の講習会が参加者約350名を集め開催された：

第一回算術教授講習会（大阪府三師範初等教育数学会主催、1928年6月4-9日13-17時、大阪府天王寺師範学校講堂）

この初等教育数学会は、その後、大阪学芸大学数学会、そして大阪教育大学数学会と名称を変えつつ、1928年以来、戦時下の1945年とコロナ禍であった2020、2021年を除いて教育研究発表会を毎年開催してきた。尚、その途中の1964年、当時の大阪学芸大学数学会は、大々的に教育研究発表会を開催した。その折、大正末期から続いていることから当該会を第40回とする動きが生じ、これが継承され現在の回数となっている。また、1974年には、「大阪教育大学数学会五十年のあゆみ」が編集されている。

大阪教育大学数学会研究発表会は間もなく百回を迎えようとしている。その母体であった大阪府三師範初等教育数学会から始まる本会が、他教科でも同様の発表会(講習会)が開催される中、永年に渡り、継続できたのは、結成当初の三師範学校教諭や小倉金之助の存在と、その後も続く附属訓導を含めた協力精神が培われていったことによるといえる。我々は今一度、これまでを振り返り、あと数年で第百回を迎えようとしている状況に当たり、その意義・あり方を確認し、結成時同様に大阪府下を先導するにふさわしい教育研究を重ねる必要がある。

<参考文献>

- [1] 『算数教育改善の方向』大阪学芸大学数学会・大阪市小学校教育研究会算数部, 1964年7月14日, 83p
- [2] 「大阪教育大学数学会主催算数・数学教育研究発表会第50回大会記念特集」大阪教育大学数学教室編数学教育研究第4号, 1975年, pp.1-252
- [3] 大阪府三師範初等教育数学会創設の事情とその当時の算術教授の実情についての考察, 大阪教育大学数学教室編数学教育研究第13号, 1983年, pp.189-210
- [4] 『数学会研究資料集』大阪教育大学数学会発行, 1984年, 225p
- [5] 松宮哲夫, 「第70回記念・大阪教育大学数学会研究資料集に寄せて」大阪教育大学数学教室編数学教育研究第24号, 1994年, pp.1-2
- [6] 松宮哲夫, 数学教育史研究の回想と課題-人との出会い書物との出会い-, 大阪教育大学数学教室編数学教育研究第28号, 1998年, pp.3-17

<沿革>

1874 大阪府天王寺師範学校 創設 1900 大阪府女子師範学校 創設

1903 校友会研究発表月間機関紙『初等教育教材研究』創刊(天王寺師範学校, 『我等の教育』大阪府三師範学校教育研究会編輯, 1925年～)

1908 大阪府池田師範学校 創設

1908 合同参観及研究会 (この年より各附属で)

1912 三師範併合各教科教授法研究会(昭和初めまでには三師範連合研究会に改称)

1913 大阪府下小学校連合研究会 (この頃より各附属, 府下小学校で)

1925 小倉金之助による池田師範での講演(10月) 大阪府三師範数学研究会 創設(10月-1916年4月頃か)

1928 『師範二部融合数学』(立川書店) 出版 大阪府三師範初等教育数学会 結成 第一回算術教授講習会 開催

1974 「大阪教育大学数学会五十年のあゆみ」編集